

## 業績一覧

学科等ごと、50音順に掲載  
(2022年1月～12月)

### 一般教育等

氏名	著書・論文名	掲載誌名・発行年月等	備考
有元 志保	「作家と作品の生き残りをめぐる相克－もの書く 「新しい女」たちに見るグラント・アレンの創作姿勢」	『文学と評論』Vol. 3 No. 15 p.45-55 2022年12月	単著
林 恵嗣	“ Effect of water temperature on cutaneous vasodilation to immersion in carbonated water ”	<i>The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine</i> . Vol.11 No.6 p.379 2022.12	単著

## 歯科衛生学科

氏名	著書・論文名	掲載誌名・発行年月等	備考
仲井 雪絵	“ Impact of dietary patterns on plaque acidogenicity and dental caries in early childhood: a retrospective analysis in Japan ”	<i>International Journal of Environmental Research and Public Health</i> Vol.19 No. 12 :7245 2022.6 <a href="https://doi.org/10.3390/ijerph19127245">https://doi.org/10.3390/ijerph19127245</a>	共著
	“ Broadening the Dental Hygiene Students’ Perspectives on the Oral Health Professionals: A Text Mining Analysis ”	<i>Dentistry Journal</i> 2022 Vol.10 No.9:160 2022.8 <a href="https://doi.org/10.3390/dj10090160">https://doi.org/10.3390/dj10090160</a>	共著
	第 19 回日本口腔ケア学会総会・学術大会 教育講演 1 「ニューノーマルな齲蝕予防法を探索する —primary-primary prevention としての周産期口腔ケア—」	『日本口腔ケア学会雑誌』 Vol.16 No.3 p.58 2022 年 4 月	単著
	令和 4 年度 母子保健・健全育成住民会議プログラム～社会が子育て、地域で子育て、環境づくり～「マイナス1歳からはじめるむし歯予防—ニューノーマルな時代の健口戦略—」	『令和 4 年度 母子保健・健全育成住民会議プログラム』(和歌山県母と子の健康づくり協議会) p.5-19 2022 年 10 月	単著
令和 4 年度 健やか親子 21 全国大会 母子保健推進員及び母子保健関係者全国大会 「ニューノーマルな時代の健口戦略 —マイナス1歳からはじめるむし歯予防—」	『令和 4 年度健やか親子 21 全国大会併設 母子保健推進員等及び母子保健関係者全国大会 抄録集』 p.6-20 2022 年 10 月	単著	
長谷 由紀子	“ Complexities of interprofessional identity formation in dental hygienists: an exploratory case study ”	<i>BMC Medical Education</i> Vol.22 No.1 :8 2022.1	共著
	「障害者歯科臨床実習においてケース表を用いた指導と目標設定がもたらした学修効果」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.16 No.2 p.75-83 2022 年 2 月	共著
	“ Broadening the Dental Hygiene Students’ Perspectives on the Oral Health Professionals: A Text Mining Analysis ”	<i>Dentistry Journal</i> 2022 Vol.10 No.9:160 2022.8 <a href="https://doi.org/10.3390/dj10090160">https://doi.org/10.3390/dj10090160</a>	共著

長谷 由紀子	“ Communication Management Processes of Dentists Providing Healthcare for Migrants with Limited Japanese Proficiency ”	<i>International Journal of Environmental Research and Public Health</i> Vol.19 No.22 :14672 2022.11	共著
	「倫理・プロフェッショナリズム教育の現状」	『日本歯科医学教育学会雑誌』 Vol.38 No.3 p.134-138 2022年12月	共著
野口 有紀	「12歳児とその養育者の主観的口腔健康状態に関連はあるのか？－探索的研究より－」	『社会歯科学会雑誌』 Vol.14 No.2 p.2-12 2022年3月	共著
	「前期高齢者におけるインターネット利用と歯間補助用具の使用との関連」	『口腔衛生学会雑誌』 Vol.72 増刊号 p.94 2022年4月	共著
	「中学生の歯間部清掃用具使用と養育者の歯科保健行動の関連」	『社会歯科学会雑誌』 Vol.15 No.1 p.14-27 2022年9月	共著
	「COVID-19 流行下における就業歯科衛生士の感染予防の実態調査」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』 Vol. 13 No.2 p.115 2022年10月	共著
藤田 美枝子	「12歳児とその養育者の主観的口腔健康状態に関連はあるのか？－探索的研究より－」	『社会歯科学会雑誌』 第14巻 第2号 p.2-12 2022年3月	共著
	「前期高齢者におけるインターネット利用と歯間部補助用具の使用との関連」	『口腔衛生学会雑誌』 第72巻 増刊号 p.94 2022年4月	共著
	「中学生の歯間部清掃用具使用と養育者の歯科保健行動の関連」	『社会歯科学会雑誌』 第15巻 第1号 p.14-27 2022年9月	共著
	「COVID-19 流行下における就業歯科衛生士の感染予防対策の実態調査」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』 第13巻 第2号 p.115 2022年10月	共著
松原 ちあき	“ Comparison of the Amount of Used and the Ease of Oral Care between Liquid and Gel-Type Oral Moisturizers Used with an Oral Care Simulators ”	<i>International Journal of Environmental Research and Public Health</i> Vol.19 No. 13 :8158 2022.7	共著
	“ Association between oral health and advisability of oral feeding in advanced cancer patients receiving palliative care: a cross-sectional study ”	<i>Support Care Cancer</i> Vol.30 No.7 :5779-5788 2022.7	共著

松原 ちあき	<p>「統合失調症患者における口腔環境の実態調査」</p> <p>「通所サービス利用者の歯科医療ニーズの実態および歯科衛生士によるアセスメントの有用性の検討」</p>	<p>『老年歯学』(日本老年歯科医学会第 33 回学術大会講演抄録集) Vol.37 No.2 p.116 2022 年9月  <a href="https://www.gerodontology.jp/publishing/file/journal_meet/meet33.pdf">https://www.gerodontology.jp/publishing/file/journal_meet/meet33.pdf</a></p> <p>『日本歯科衛生学会雑誌』(日本歯科衛生学会第 17 回学術大会)Vol.17 No.1 p.95 2022 年 8 月</p>	<p>共著</p> <p>共著</p>
森野 智子	「食行動データベース構築に向けた口腔機能の分析に関する検討」	『第 21 回情報科学技術フォーラム(FIT)予稿集』 p.331-332 2022 年 9 月	共著

## 社会福祉学科

氏名	著書・論文名	掲載誌名・発行年月等	備考
安 瓊伊	「小規模多機能型居宅介護に勤務する職員の技術の発揮が求められる場面－介護福祉士を対象とした面接調査から－」	『第30回日本介護福祉学会大会抄録集』 p.18 2022年10月	共著
奥田 都子	「福祉・医療職のための家政学の教育内容の検討(1)－学生の評価にみる生活経営・食生活領域の有用性－」	『日本家政学会第74回大会研究発表要旨集』 p.79 2022年5月	共著
	「福祉・医療職のための家政学の教育内容の検討(2)－学生の評価にみる被服・住生活領域の有用性－」	『日本家政学会第74回大会研究発表要旨集』 p.80 2022年5月	共著
	「介護福祉学の構築に向けて－介護福祉のための家政学からの考察－」	『介護福祉学』 Vol.29 No.1 p.44-51 2022年9月	単著
鈴木 俊文	「介護人材確保・育成をめぐる現状と今後の展望」	『介護福祉教育』 No50・51 合併号 p.80-84 2022年3月	単著
	「静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DWAT)の活動分析－熱海市支援活動のエスノグラフィー作成に向けて－」	『第30回日本介護福祉学会大会抄録集』 p.55 2022年10月	単著
	「米国の Direct Care Worker の現状と課題」	『第30回日本介護福祉学会大会抄録集』 p.37 2022年10月	共著
高木 剛	「介護福祉士及び看護師の養成課程における連携教育の課題と展望－教育内容の関連性の分析並びにデンマークの取り組みを手がかりに」	『社会事業研究』 第61号 p.71-82 2022年1月	単著
	「利用者の QOL 向上のために介護福祉士に求められるコンピテンシーと養成(教育)上の課題－デンマークの社会保健アシスタントとの対比から」	『いのちとくらし研究所報』 No.79 p.50-60 2022年7月	単著
	「介護過程の展開におけるコンピテンシーの構成要素－ドイツのモデルを手がかりに」	『介護福祉教育』 第27巻 第1号 p.78-85 2022年8月	単著

高木 剛	「介護過程の展開におけるコンピテンシーの構成要素—ドイツのモデルを手がかりに」	『第 27 回日本介護福祉教育学会分科会演題一覧(抄録集)』p.18 2022 年 3 月	単著
中澤 秀一	「最賃全国一律 1500 円の意義と課題」	『建設労働のひろば』(東京土建一般労働組合) No.121 p.35-39 2022 年 1 月	単著
	「賃金・最低賃金」	『学習の友』(労働者教育協会) No.822 p.30-33 2022 年 2 月	単著
	「『若者の仕事と暮らしに関する実態調査』結果報告」	『労働総研クォーター』(本の泉社) No.121 p.2-55 2022 年 3 月	共著
	「若者の生活・労働実態にみる課題・要求」	『学習の友』(労働者教育協会) No.825 p.26-31 2022 年 5 月	単著
	「社会保障政策」	『日本労働年鑑』(旬報社) 第 92 集 p.484-493 2022 年 6 月	単著
	「広げよう! 全国一律 1,500 円」	『医療労働』(日本医療労働組合連合会) No.657 p.2-8 2022 年 6 月	単著
	「最低賃金引き上げで、危機につよく、人にやさしい経済をつくる」	『議会と自治体』(日本共産党中央委員会) No.291 p.55-63 2022 年 7 月	単著
	「韓国の最低賃金事情」	『中小商工業研究』(中小商工業研究所) 第 153 号 p.45-50 2022 年 10 月	単著
	「最低生計費調査の到達点—地方圏における最賃とは」	『社会政策学会第 145 回(2022 年度秋季)大会プログラム』p.20 2022 年 10 月	単著
	「地方における若者の「普通の暮らし」を考える—最低生計費調査が示唆すること」	『日本労働社会学会第 34 回大会(2022/10/22~23 Web 開催)パンフレット』2022 年 10 月 <a href="https://www.jals.jp/taikai/taikai34-1.pdf">https://www.jals.jp/taikai/taikai34-1.pdf</a>	単著
「低賃金脱却 カギは最低賃金」	『ひろばユニオン』(労働者学習センター) 第 729 号 p.30-33 2022 年 11 月	単著	
「医療・福祉分野における特定最低賃金新設の展望」	『労働総研クォーター』(本の泉社) No.124 p.27-42 2022 年 11 月	共著	
「パート・アルバイトの賃金の実態—東京都パート・アルバイト募集時給調査より見えること」	『労働総研クォーター』(本の泉社) No.124 p.63-71 2022 年 11 月	単著	

中澤 秀一	<p>「連載 最低賃金を 1500 円に①“溜め”をつくれない」</p> <p>「連載 最低賃金を 1500 円に②生活の費用を科学的に」</p>	<p>『東京民報』（東京民報社）第 2262 号 p.3 2022 年 12 月</p> <p>『東京民報』（東京民報社）第 2263 号 p.3 2022 年 12 月</p>	<p>単著</p> <p>単著</p>
松平 千佳	<p>「新型コロナウイルス禍でのホスピタル・プレイ・スペシャリストの取り組み」</p> <p>“ How Japanese Pediatrician Evaluate Hospital Play in Medical Settings Finding Play Support for Sick and Children with Special Care ”</p> <p><i>Play Specialism Strategies to Prevent Pediatric Hospitalization Trauma Chapter17</i></p> <p>“ The Little Giant: Play for children who has been traumatized in hospital ”</p> <p>「Hospital Play Specialist 養成講座受講生に対する調査から見た臨床現場における「遊び」の必要性と HPS の可能性」</p> <p>「ホスピタル・プレイ導入の試みから考える「遊び」と臨床教育学アプローチ「疾病」と「病い」の子どもたち」</p> <p>「医療的ケア児と遊び支援：ホスピタル・プレイ・スペシャリストの取り組み事例を通して」</p> <p>“ The Evolution of Hospital Play in the UK and Repercussions for Japan: A Socio-historical Perspective ”</p>	<p>『小児科臨床』（総合医学社）vol.75 no.2 p.267-273 2022 年 4 月</p> <p><i>The 4th World Conference on Child and Youth 2022(CCY 2022)</i> p.3 2022 年 7 月</p> <p>IGI Global 2022 年 10 月 p.323-337</p> <p>『第 12 回日本臨床教育学会 自由研究発表(A) 一般研究 要旨集』 p.29-30 2022 年 10 月</p> <p>『第 12 回日本臨床教育学会 自由研究発表(A) 一般研究 要旨集』 p.31-32 2022 年 10 月</p> <p>『臨床教育学研究』（日本臨床教育学会）第 10 巻 p.17-28 2022 年 10 月</p> <p><i>Studies in Social Science Research</i> vol.3 No.4 p.178-195 2022 年 11 月 <a href="https://hpset.org.uk/wp-content/uploads/2016/09/The-Evolution-of-Hospital-Play-in-the-UK.pdf">https://hpset.org.uk/wp-content/uploads/2016/09/The-Evolution-of-Hospital-Play-in-the-UK.pdf</a></p>	<p>共著</p> <p>共著</p> <p>単著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>共著</p>

## こども学科

氏名	著書・論文名	掲載誌名・発行年月等	備考
及川 直樹	「地域の親子に対する運動遊びを中心とした「親子ふれあいパーク」の意義―活動に対する保護者の認識に基づいて―」	『倉敷市立短期大学研究紀要』第65号 p.39-45 2022年3月	単著
	「幼児の遊びの実態に関する要因と運動能力の関係(1)保育所での遊びの実態をもとに」	『日本保育学会第75回大会発表論文集』p.59-60 2022年5月14-15日	単著
小林 佐知子	「潜在的な育児動機づけと育児行動の関連」	『日本発達心理学会第33回大会発表論文集』p.139 2022年3月	共著
	「育児経験の有無による育児感情と育児動機づけの比較検討:女子大学生と乳幼児を持つ母親を対象として」	『日本心理学会第86回大会発表論文集』2PM-048-PM 2022年9月	共著
	「IATによる育児の非意識的態度の測定に向けて(4):育児 SC-IAT のイラスト版と関連語版に対する反応の個人内比較」	『日本子育て学会第14回大会発表論文集』 2022年11月	共著
名倉 一美	「日本のプロジェクト型保育に関する一考察」	『教科開発学論集』Vol.10 p.95-101 2022年3月	単著
	「保育における5歳児「集団所属感」アセスメントツールの妥当性の検証―保護者評価との関連から―」	『日本保育者養成教育学会第6回研究大会プログラム・抄録集』p.46 2022年3月	単著
	「5歳児の集団所属感と保護者による担任保育者評価との関連」	『日本保育学会第75回大会発表論文集』p.881-882 2022年5月	単著
	「発達の気になる外国にルーツをもつ幼児に関する保育者と保護者の話合いの現状」	『日本乳幼児教育学会 第32回大会』p.180-181 2022年12月	共著
	「発達の気になる外国にルーツをもつ幼児の情報を保護者はどのくらい把握しているのか」	『日本乳幼児教育学会 第32回大会』p.182-183 2022年12月	共著
藤田 雅也	「能動的触覚を促す形状と行為についての一考察―大学生を対象とした立体物を触る行為の実態調査の分析を基に―」	『基礎造形』第30号 p.11-18 2022年2月	単著



藤田 雅也	「乳幼児及び児童の立体形状の選好と触る行為の傾向からの一考察」	『美術教育学研究』第 54 号 p.289-296 2022 年 3 月	単著
	「視覚と触覚による観察が表現行為に与える影響についての一考察 - 中学校美術科における授業の分析を基に」	『教育実践学論集』第 23 号 p.25-36 2022 年 3 月	単著
	「粘土遊びの経験が幼児の表現行為に与える影響についての一考察」	『日本保育学会第 75 回大会発表論文集』p.368-369 2022 年 5 月	単著
	「身体・感覚経験を伴った創造性を育成する教員<Creative Educator>の教育活動の可能性についての検討」	『日本美術教育学会 第 71 回学術研究大会 瀬戸内大会 発表論文集』p.22 2022 年 8 月	共著
松浦 崇	『保育とアタッチメント』第 3 章 「社会の中の保育とアタッチメント—園が保護者にとっても安心できる場となるために—」	ひとなる書房 p.101-126 2022 年 9 月	共著
山本 学	『混声合唱とピアノのための「きみはだれ」』作曲	パナムジカ出版 2022 年 9 月	単著
	『女声合唱とピアノのための「きみはだれ」』作曲	パナムジカ出版 2022 年 9 月	単著
	『2022 新しい童謡集』「ひっこしていったきみに」	(一社)日本童謡協会 p.86 2022 年 10 月	共著
	「歌による台湾と日本の言語的交流の実践 ((透過歌謡進行台湾及日本的語言交流及實踐))」	『全国大学音楽教育学会 第 37 回全国大会<倉敷大会>抄録』A-3 p.15 2022 年 8 月	単著
	「子どもの歌の最高音の母音についての調査と一考察-子どもが歌いやすい歌の一要素として注目して—」	『日本音楽教育学会第 53 回大会(国立音楽大学)抄録』R-7 p.112 2022 年 11 月	単著
	「滋賀県竜王町立竜王こども園園歌」作詞	「竜王町立竜王こども園ホームページ」>園歌 2022 年 4 月 <a href="https://ryuko.rmcweb.jp/ensyukai/enka">https://ryuko.rmcweb.jp/ensyukai/enka</a>	単著